

<b>教科 科目 単位数</b>	地理歴史 日本史探究 3	<b>受信校</b>	北海道穂別高等学校	<b>学科 学年(年次) 履修・実施</b>	普通科 第三学年 必修・一斉
<b>教科書 副教材</b>	「精選日本史探究 今につなぐ 未来をえがく」(実教出版) 「図説日本史通覧」(帝国書院)「精選日本史探究 演習ノート」(実教出版)				

## 1 目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

## 2 学習のポイント

- (1)年間を通して遠隔授業となります。オリエンテーション時に何点が注意事項を説明しますので、特性を理解したうえで授業に臨んでください。
- (2)遠隔授業では Google workspace を資料の配布、読み取り、課題の提出などさまざまな場面で利用します。操作については都度説明しますので、慣れてください。
- (3)教科の特性上、学習事項が多岐にわたります。受け身な姿勢だけではなく、ぜひ主体的に学ぶようにしてください。わからないことがあったら Google classroom などを活用して積極的に質問してください。

## 3 学習の評価

### (1) 評価の観点と規準

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

### (2) 評価方法と観点の関連等

	評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア	学習活動の観察	○	○	◎	学習活動の取組、提出物の記述等
イ	ワークシート	◎	◎	○	ワークシートへの記述等
ウ	発表	◎	○	○	活動の発表等
エ	テスト	◎	○	○	定期考査や確認テスト等
総括時の比率		1	1	1	

## 4 その他

- (1)年度内に数回、教科担任が皆さんの学校に赴いて対面授業を行う予定です。
- (2)授業者が現地にはいない分、積極的な活動がより一層重要になります。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3)授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Google classroom などを活用して教科担任へ申し出る、もしくは自身の学校の先生へ伝言するなどしてください。

5 年間授業計画 (計 90 時間)

月	○章立て	配 当	【学習領域】 ・主な学習内容 ◇考查	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・ 表現 ③主体的に学習 に取り組む態度
4	○オリエンテーション	1	・ガイダンス	・科目の目標や年間計画を理解する。	
	第1編 原始・古代の 日本と東アジア ○第1章 国家と文化の形成	6	・旧石器時代 ・縄文時代 ・弥生時代 ・古墳時代	・人類が日本列島で生活を営みはじめた時代からヤマト政権の形成までを扱い、原始・古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。  ・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	① 定期考査や提出物の記述等 ② ワークシートへの記述等 ③ 毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
5	○第2章 古代国家の確立	12	・飛鳥時代 ・奈良時代 ・平安時代	・飛鳥時代から平安時代末までを扱い、古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	① 定期考査や提出物の記述等 ② ワークシートへの記述等 ③ 毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
				・古代の国家や社会の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現する学習を通じて思考力、判断力、表現力等の育成を図りつつ、古代の日本の国家・社会の展開について理解する。	
6	第2編 中世の日本と 世界 ○第3章 中世社会の成立	10	◇前期中間考査 ・平安時代 ・鎌倉時代	・平安時代末から鎌倉時代末までの歴史について、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	① 定期考査や提出物の記述等 ② ワークシートへの記述等 ③ 毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
				・古代から中世への歴史の転換と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、対外的な環境や交流、前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、探究に向けた時代を通観する問いを表現する。	
7	○第4章 中世社会の展開	10	・室町時代	・室町時代から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的にとらえて理解できるようにする。	① 定期考査や提出物の記述等 ② ワークシートへの記述等 ③ 毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
8				・中世社会の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、対外的な環境や交流、前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、中世の日本の国家・社会の展開について理解する。	
9	第3編 近世の日本と 世界 ○第5章	10	◇前期期末考査 ・安土・桃山時代 ・江戸時代 (前期)	・織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解している。	① 定期考査や提出物の記述等 ② ワークシート

	統一政権の成立			・織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	への記述等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
10	○第6章 幕藩体制の展開	12	・江戸時代（中期） ・江戸時代（後期）	・武断政治から文治政治への転換、江戸三大改革について学習し、幕藩政治の性質の転換に対する背景、それぞれの改革の特色と影響について多面的・多角的に考察する。 ・近世の国家や社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近世がどのような時代であったかを理解する。	①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
11	第4編 近現代の地域・日本と世界 ○第7章 大日本帝国の形成	12	・江戸時代（末期） ・明治時代（前期） ◇後期中間考査	・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などをもとに、近世から近代への時代の転換を理解する。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
12	○第8章 大日本帝国とデモクラシー ○第9章 アジアの戦争と第二次世界大戦	12	・明治時代（後期） ・大正時代  ・大正時代 ・昭和時代（戦前・戦中）	・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、特に時代の転換に着目して表現する。 ・日清・日露戦争、第一次世界大戦について、日本の国際的な地位の変化、戦争の推移や展開を考察し、それぞれの講和条件などから国際秩序と我が国の関わりを理解する。	①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
1	○第10章 現代日本社会の形成と展開	5	◇後期期末考査 ・昭和時代（戦後） ・平成、令和の日本	・近代から敗戦に至る国家や社会の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などについて根拠を示して表現する学習を通じて思考力、判断力、表現力等の育成を図りつつ、近現代がどのような時代であったかを構造的に捉える。 ・戦後から現代に至る国家や社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などについて根拠を示して表現する学習を通じて思考力、判断力、表現力等の育成を図りつつ、現代がどのような時代であったかを構造的に捉える。	①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等